

14 首都圏・大阪における展開に関する事項

1 首都圏における展開について

開設5年目を迎えた東京オフィスは、その事業内容を維持・向上させることを前提としつつ、適切な運営規模実現のため事務所の移転を行った（2009年11月：岸本ビル内の5階から10階へ移転）。事業活動としては、首都圏企業の求人情報収集、また学生募集・大学広報活動に伴う首都圏の高等学校や予備校への訪問活動を展開しつつ、入試部と連携した独自のイベントも開催した。また、官庁からの情報収集を行うとともに、REC公開講座の広報や首都圏校友会支部活動の支援、ならびに企業に在職する卒業生との懇談交流会などの充実に努めた。

●就職活動支援

キャリア開発部と連携したチャレンジ東京プログラム（中央大・高知大との3大学合同就職イベント：9月13日～15日・於：築地本願寺）を実施し、学生と共に企業研究

に伴う首都圏企業の訪問等を実施した。また、11月4日には大手有力企業と本学との情報交換会である「東京企業懇談会（於：ザ・ペニンシュラ東京）」へも参加し、次年度の採用情報等を収集した。学生職業総合支援センター等の公的機関へも積極的に訪問、情報収集に注力した。

●学生募集活動

首都圏（東京・埼玉・千葉）の高等学校や大手有名予備校ならびに地元有力予備校への訪問活動を行い、入試制度の浸透と大学広報を展開した。また大手予備校等が主催する入試セミナー等での情報収集（関東圏の受験動向等）をはじめ、全国的知名度の高い企業（例：旺文社等）との懇談機会の拡大に努めた。独自の入試イベントとして「2009年度高等学校と大学との情報交換・懇談会」を入試媒体企業の協力支援を得て開催（10月28日）した。

2009年度スペースを拡充し、生まれ変わった大阪梅田キャンパス

大阪地域での就職支援・エクステンション活動拡充の拠点として2008年度に設置した大阪オフィスが、2009年9月、研修室やセミナールーム、個別面談スペース等の設備を整え、「大阪梅田キャンパス」として生まれ変わりました。大阪梅田キャンパスでは、これまでのキャリア・就職支援、「RECコミュニティカレッジ」をはじめとする生涯学習事業に加えて、入試相談会の実施など入試広報（募集）活動、学会・研究会の開催など大阪地域における研究活動の拠点として、幅広い用途でより多くの方に利用していただいています。



●開室時間 平日／10：00～18：30
土曜・日祝／CLOSE
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザ
ウエスト オフィスタワー14階
TEL：06-6344-0218



拡充した就職支援スペース



就職ガイダンスの様子



RECコミュニティカレッジの様子

●官庁からの情報収集 他

文部科学省（中央教育審議会）や霞ヶ関周辺施設での官僚による講演会等で情報収集を行うとともに、官公庁（京都府・京都市東京事務所）へのREC公開講座案内パンフレットの設置・配架と告知、校友会活動への支援（役員会、総会準備）、卒業生との会合時において記念事業などの周知・報告を行った。

2 大阪における展開について

第4次長期計画の拠点展開の1つとして2008年10月1日に開設した大阪オフィスは2009年9月1日に規模を約4倍に拡大し「大阪梅田キャンパス」とし新たな展開を開始した。主な事業内容は、産学連携事業、生涯学習講座、入試広報（募集）活動、キャリア・就職支援等であり、大阪地域において積極的な事業展開を行うことにより、大阪における知名度向上とブランドイメージの向上に努めた。

2009年度の大阪梅田キャンパスにおける生涯学習講座、入試広報活動、就職支援活動、研究会等の利用者の総数は16,830名（2009年4月1日～2010年3月31日）であり、全体を通して極めて活況であった。

●生涯学習講座（RECコミュニティカレッジ及び龍谷講座）

生涯学習講座については、2009年度前期開講講座数は31講座（127コマ）、受講生728名、後期開講講座数は43講座（130コマ）、受講生2,218名であり、合計74講座（257コマ）受講生2,946名となった。大阪地域で生涯学習講座をはじめてから着実に受講生を延ばしている。

●産学連携事業

産学連携事業については、大阪梅田キャンパスを活用した事例とし大阪府中小企業家同友会とRECが共催し、オンライン研究会を開催した。また、経済産業省が公募する研究開発委託事業への申請にむけた産官学関係者プロジ

ェクト会議を数回にわたり実施した。官庁・企業等の情報収集のため大阪梅田キャンパスを拠点とし利用している。

●入試広報（募集）活動

入試広報活動については、27回の入試相談会（67名参加）や入試直前対策講座（54名参加）等を実施し、高等学校や受験生に徐々に認知度が上がっている。受験生募集活動として、入試部職員を常時配置しており高等学校訪問等の拠点とし効果的に運用した。

●キャリア・就職支援

就職活動のワンストップサービスを提供しており、キャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリング、エントリーシート・履歴書添削、就職情報収集用パソコンの利用、証明書発行、履歴書・提出用封筒の販売など、深草・瀬田学舎のキャリア開発部と同等の機能を有している。2009年4月1日～2010年3月31日までの延べ利用者数は12,906名、キャリアカウンセリングの総数は3,132名である。特に就職活動のピークである2010年2月には1日に最大279名の来室と最大72名のキャリアカウンセリングを実施しており、2008年度のピーク時の2倍程度の利用状況となった。企業と学生のマッチング事業については、企業セミナー（説明会）を2008年度の10倍の規模で実施しており、125社の参加企業があり参加学生総数1,254名であった。また、模擬グループ面接や模擬グループディスカッション等の就職活動支援セミナーは、63回開催、681名の利用があった。近年の就職活動に必要な不可欠な就職情報検索用パソコンは40台設置しており、その利用者総数は2,510名であった。

●その他の利用状況

その他、研修室、セミナールームの活用状況については、研究会での利用が26回（468名）、その他会議、研修会等での利用が23回（389名）、合計49回（857名）であり、今後益々活用事例が増えるものと思われる。